

■学校の概要

農業大学校は、1920年にスタートし、本年100周年を迎えました。研究所の各部門と連携を図りながら農業に関する専門的な知識・技術の習得支援をしてきました。卒業生は約2000名となり、農業後継者や農業技術者等として各地で活躍しています。

■これまでのあゆみ

農業大学校の歴史は古く、1920年、大阪府立農事試験場農事練習生養成規程が大阪府により定められ、養成所を設置。この養成規程が現在の農業大学校の前身となっています。一方、自営者養成の流れとして、1934年、三島郡三島村太田（現 茨木市）に大阪府立農場講習藍野塾が設置されています。

1962年には、大阪府条例第42号により、大阪府農林技術センター条例が制定公布され、都市近郊の特殊性に対応した農林業に関する総合的試験研究並びに農業技術者の教育研修を行う大阪府農林技術センターが1963年に発足しました。

これを受け、1963年4月1日付けて、農業技術者養成を担ってきた大阪府立農業講習所と自営者養成を目的とする大阪府藍野農場を統合し、農業技術者養成コースと農村子弟教育コースの2コース制となり、大阪府農林技術センター研修課程（高等科、普通科、研究科）により運営されることとなりました。

その後変遷を経て、2012年4月1日の地方独立行政法人への移行に伴い、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校となりました。

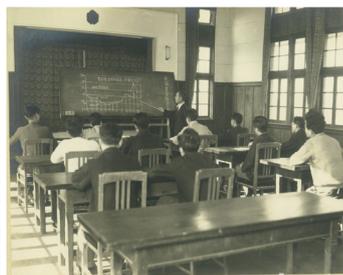


写真1・2：農業試験場本場（堺市）

写真3・4：現在の授業風景（羽曳野市）

■記念事業の概要

【記念式典及び記念農業祭】

創立百周年を記念し、2020年11月14日（土）に、農業大学校卒業生が列席し、JA関係、大阪府農業会議、大阪府など関係機関が見守る中、記念式典を開催、記念石碑の除幕式も行いました。

さらに、同日開催の記念農業祭では、学生の栽培した農産物の販売や、さつまいも掘り、模擬店での加工品販売に加えて、大阪府広報担当副知事のもずやんをはじめとしたキャラクターが集うショー、大道芸等も開催し、大盛況でした。

【記念誌】

創立百周年を記念し、これまでの歩みを振り返り、祝辞、これまでの歴史、卒業生からの寄稿文等をまとめた記念誌を発行する予定です。



写真1：記念式典の様子



写真2：記念石碑



写真3：記念農業祭